

教科	発行者	採択理由
道徳	学校図書	「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」という道徳科の目標に照らして、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるに相応しい教材が工夫されている。また、学びの視点が分かりやすく示されており、読む、書く、話し合うなどの活動を通して、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習がしやすい構成となっている。

教科	発行者	採択理由
道徳	光村図書	すべての読み物教材に「考えよう」という学習課題が設定されているため、次期学習指導要領が目指す方向性と合致した問題解決的な学習を展開しやすい。また、単元型学習が一年間で数回設定されているため、児童はいじめ等のテーマについて多面的な視点で考えることができる。

教科	発行者	採択理由
道徳	学研	各学年に、現代的な課題に関わる重点テーマを定め、複数の内容項目を関連させる学習を設定している。付属の「道徳ノート」がなく本校独自の「道徳ノート」が使用できる。また、A4サイズで、イラストや写真も大きく分かりやすい。

教科	発行者	採択理由
道徳	学校図書	「読み物編」と「活動編」の分冊になっており、「活動編」では、内容に合わせた個々人の考えを記入することができる。また、考えを深める発問があり、学級での話し合い活動を通して自分自身を見つめる活動がしやすい構成で、主体的に話し合う活動を大事にしている本校の実態に合っている。また、途中にコラムが掲載されており、子どもの興味関心を引き出す構成になっていることも評価できる。